



千葉県松戸市立第二中学校 3年

齊 藤 花 音

## 温かい世界を作るために

「人には優しくしなさい。」「思いやりを持って生きなさい。」このような言葉を親や先生方に言われたことのある人は多いのではないだろうか。そもそも、「思いやり」とは誰のため、何のためにあるものなのだろう。

この質問をされた時に多くの人が答えるのは、「他人を喜ばせるため」という模範解答ではないだろうか。もちろん「思いやり」とは人のためにする事だが、私は自分のためにする「思いやり」も大切なのではないか、と思う。

自分のための「思いやり」とは名誉や周りからの印象ということではなく、自分を成長させるためのことだ。思いやりを持ってそれを行動に移すことは、簡単なことではなく、最初はたくさんの勇気が必要になるだろう。だが、その勇気を出す、という壁を押し倒した先には相手の笑顔、そして何よりも自分への自信がつくことになる。

では、どうすれば勇気を出して行動に移すことが出来るようになるのだろうか。

それは、普段から自分の受けた「思いやり」に感謝の気持ちを忘れないようにする事が大切だと思う。感謝の気持ちを持つことによって人から受けた思いやりを自分の勇気を出す一歩にし、またその思いやりを引き継ぐことによって世界中に優しさと思いやりの輪が広がるのではないだろうか。そして、自分の大きな成長の一歩になることだろう。

世界中には様々な年齢、国籍、考え方、個性の違う人がいる。だからこそ、小さな思いやりの精神が大きな人々への幸せへと繋がるのだろう。そして「ありがとう」の価値がとて大きくなるのだろう。

感謝が勇気になり、勇気が幸せになる。その正の連鎖を崩さないような人に、世界を温めるような人に私はなりたい。